

クラス通信

麻生本校・円山校・札幌駅前校

クラスユニック

高校部 3月15日発行

令和3年3月号

保護者の皆様へ

理事長・校長 福島 新四郎

3月も半ば、春の嵐が吹き荒れたりもしましたが、晴れた日中は日差しも強く日も長くなり、まさに「春はそこまで来ている」といった感じのする季節ともなりました。

さて、今月は特に年度末の春休みも始まりますので、学校休み期間に将来一番身近な目標となる「大学受験」についてじっくりと考えをめぐらせておくことをお勧めし致します。

<現役合格に必要なこと>

大学に合格するためには、大学受験がいかなるものなのか、まずその内容を知る必要があります。いわゆる進学校の生徒とそうでない学校の生徒の大きな差は、実は大学受験そのものを知っているか否かにあります。つまり、生徒の日常に大学受験の情報が行き渡っているか否かなのです。

大学受験を成功させるためには、大きく二つの要素が不可欠です。

一つは、「大学受験選抜の仕組みを熟知していること」であり、もう一つは「各大学が要求する水準の教科内容に習熟していること」です。大学受験選抜の仕組みを知って、自分に適した志望大学への絞りを、その志望大学が要求する学力水準への到達を目標に学習計画を立て、実行する。また、不得意教科・分野をマスターするための手段として、学習塾や家庭教師等を組み込む。

ここで、不得意教科・分野マスターの手段の中に、「予備校」を入れなかったのは、実は予備校には学習塾や家庭教師のように不得意科目・弱点分野のみの指導だけではおさまらない大きな利用価値があるからです。前述の「大学受験選抜の仕組み」や「各大学が要求する水準の教科内容」などは頻繁に変化しています。まさしくその変化に対応できるのが「大学受験予備校」なのです。日常は部活や学校行事等諸事忙しい生活です。早くから受験勉強のみの生活を送ることはできませんから、なおさら、到達点に向かって的を絞った学習を日々進めているということが重要です。

「共通テスト元年」去る1月16日(土)・17日(日)に行われた共通テスト、前年までの「大学入試センター試験」と比べてどうであったのか。当校の各教科の先生方による結果の概要をまとめましたのでご覧下さい。新高3生は勿論ですが、新高2生、高1生にとっても今から意識しておくことは必要です。今年もクラス現役高校生が札幌医科大学、京都大学、北海道大学等に入りました。皆さんも是非後に続いて下さい。

共通テスト—数学

日常生活の事象を数学的に考える問題が出題され、出題内容への誘導が少なかったことで、時間内でやりきることは難しかったと思われる。

数学IA分野の図形と計量の問題では、3つの正方形の面積の関係と三角形の角の大きさや辺の長さの大小関係について場合に分けて考える問題が出題された。

<裏面に続く>

図形の性質では円がたびたび出て図を書き直す手間と正確な作図力が必要だった。

数学ⅡB分野の三角関数の合成でCOSに合成するとき、文字の値の符号で場合分けをして最大値を求める問題が出題された。数列は漸化式で複雑な式ではあったが誘導にしたがって、意図を理解すればそれほど難しくはない。ベクトルは正五角形から正十二面体の問題が出題され、実際の受験生で見かけに圧倒されてしまった人も多かったかもしれない。

<共通テスト数学の勉強の仕方は?>

- (i) 基本の徹底 教科書に載っている定理や公式を使った問題の反復演習
- (ii) 頻出問題の演習 ある程度の頻出問題の解法はすぐ思い浮かぶようにする
- (iii) 共通テスト、個別試験に向けての演習 以上、数学は言うまでもなく「日常学習」が大事。

共通テスト—英語

リーディングは、センター試験で出題されていた発音・文法問題がなくなり、すべて読解問題となった。いわゆる長文問題、SNS・ホームページ・発表など実用的な場面設定が多く、さらに図表・グラフなど複数の情報源を読み取る設問が出題。試験時間は80分と変わらないが、センター試験に比べると総単語数が3割以上増加。「量が多すぎて時間内に読み切れなかった」という受験生の声がある一方で、平均点はセンター試験とほぼ同じだったのは、設問・選択肢が比較的簡単で迷うところが少なく、解答した問題の正答率が高かったからだろう。

リスニングはセンター試験とは大きく変わり、配点が高い。リーディングと同じ100点満点。得点配分は各大学に任せられ1対1とする大学が多いがリスニングの比重が大きく増した。内容変更点としては、6問中4問は1回読みになった。試験時間は30分で変わらないため、読まれる総単語数は3割5分ほど増した。また、音声を聴きながらグラフを読み取ったりワークシートを埋めたりする情報処理能力も問われる形式が増え、リーディング同様に「リスニングが難しすぎた」という声が多かったが、結果は平均点が昨年までのセンター試験とほぼ変わりなかった。

【今後の学習対策】「読んで理解できない文章は聴いて理解できない」ことを肝に据えて、まずは読解力をつけること。

共通テスト—国語

目玉とされた記述は見送られ、平均点、出題内容ともにセンター試験と大差のないものとなった。

○ 新傾向としては、「本文に対するまとめノートや別の文章を設問に導入して目先をかえていること」
※最近のセンター試験でも生徒と教員の対談などの形式でしばしば使われていた。

○ 今後の「国語」学習に意識することは？

- 1. 語彙を増やすこと
- 2. 指示語の内容をいちいち確認すること
- 3. 段落毎の趣旨を抜き出すこと
- 4. 全文の要旨をまとめること

この4つの練習と読解・解答のスピードをあげる練習をする。当たり前の国語の修練をつむことがそのまま国語能力向上の近道となる。

春期講習のお知らせ☆☆☆☆ 春はまとまった良い期間です。時間を有効に過ごしましょう。

「春期講習会」、いよいよ今月からです。お申し込みは同封の「春期講習案内」リーフレットをご覧ください。

<3月~4月の予定>は右下の「QRコード」からHP上でご覧ください。

緊急時連絡はラインでお知らせ致します。



麻生本校 ☎011-716-7162 札幌駅前校 ☎011-299-6030

円山校 ☎011-613-7755

麻生本校 高校部



札幌駅前校 高校部



円山校 高校部

